



できることから取り組む

日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様には、お子様の毎日の健康観察・検温そしてコロナウイルス感染症予防にご協力いただき感謝いたします。

先月、保護者会の役員の方々とオンラインでの「座談会」を行いました。保護者の皆様からのご意見や教職員へ感謝の言葉などをいただき、改めてコミュニケーションの大事さがわかりました。多くのことを話すことができ、とても有意義な会であったと思います。そこで、話題になったことですが、「学習の進みが日本より遅れているのでは」と心配されていました。このことについては、本校は基本方針として、主要教科の時数を優先的に確保することを掲げ、必要な授業数を確保して実施するとともに、少人数の特性を活かした授業の工夫により、子ども達の学力の保障に向けて取り組んでいます。どうぞ、ご安心ください。しかしその分、学校行事等の内容及び時間を精選しておりますので、充実した学校生活ができていないということはあろうかと思えます。そのため現在は、コロナ禍だからこその学校行事を創意工夫しながら実施しているところです。以下、ご紹介いたします。

例年、小学部は、現地校へ訪問して交流をしていましたが、今年度はコロナ禍のため、オンラインで現地校の児童と交流をしました。子どもたちは画面越しに、授業で学習したスペイン語のフレーズ「Como se dice (fruta) en japonés?」を使ってクイズを出したり、日本の文化を紹介したりと、スペイン語で交流を図っていました。とても工夫された内容であったと感じています。

また、中学部では例年、学校へ保護者や地域の皆様を招いて学習発表会を実施していましたが、今年度はオンラインで、ご家庭とつなぎました。ここでは、一人ひとりの生徒がテーマに沿って、今まで調べ考えてきたことを、わかりやすく自分の言葉で発表しました。私は、Zoomの画面越しに見える中学部の子どもたちが、ニュースキャスターにでもなっているような感じがしました。改めて、工夫次第で学校行事が新たな姿に変わることができると感じました。これからもコロナ禍をポジティブに捉えて、工夫しながら学校行事を実施していきます。

そして、先月の学校便りにて、元全日本サッカー代表香川真司選手よりスパイクの寄贈があったことをご紹介いたしました。その後、香川選手側へ連絡を入れたところ、御本人からのビデオメッセージが本校へ届きました。今後は、香川選手へ感謝の気持ちを表すことを企画し、ビデオメッセージにもありました「子ども達が夢や希望をもてる取組」をしていきたいと思えます。

さて、現在学校では、3学期に分散登校・登園から一斉登校・登園が可能かどうか検討しているところです。これまでの分散登校・登園で得た感染予防対策のノウハウや学校行事の新たな仕方の工夫をいかし、感染状況を把握しながら、3学期の体制を考えております。保護者の皆様には、ご協力いただくことがありますので、今後ともよろしく願いいたします。

最後になりますが、今年も大変お世話になりました。コロナ渦により、皆様も「できることから取り組む」毎日を過ごされて来られたことと推察いたします。どうぞ、御自愛くださいますようお願いいたします。よい年をお迎えください。
(文責：校長 佐藤修司)

行事予定

- 12月 7日(月) プエント
- 8日(火) 聖母受胎の日
- 17日(木) 18日(金) <小中学部>2学期個人懇談会
- 22日(火) 2学期終業式・終園の集い
- Ⓢ冬季休業 12月23日(水)～2021年1月6日(水) Ⓢ
- 2021年
- 1月 7日(木) 3学期始業式・始園の集い



お知らせ

3学期の詳しい予定については、今後配信される学校からの文書・メールを御確認ください。これからも、COVID-19感染状況により、予定が変わることがありますので、学校より随時情報をお伝えいたします。